

はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.95
特別号
2020.12



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

日頃より、マリンビジョン協議会に対し多大なるご理解・ご協力、ご声援をいただき誠にありがとうございます。

歯舞地区マリンビジョン協議会は平成18年に発足当時から、地域の活性化を図るべく「最東端の海からのメッセージ」をキャッチフレーズに、水産物のブランド化（一部会一品運動）、地元催事の開催、水産教室、北方領土県民会議や旅行会社のツアー受入れ、漁民泊の受入れ等を実施してきました。また、これらの取組をSNS等で積極的に紹介したり、全国各地で講演会を開催するなどして、広く情報発信を続けてきました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動が制限されることが多くありましたが、そんな中でも当協議会は地域活性化に向けた様々な取り組みを行ってきましたので、今年度の活動の一部をご紹介します。

北海道マリンビジョン21コンテスト

～ 2年連続「最優秀賞」を受賞!! ～



北海道マリンビジョン21促進期成会主催の「北海道マリンビジョン21コンテスト2019」において、歯舞地区マリンビジョン協議会が2年連続となる「最優良賞」を受賞しました。

令和初となった当コンテストでは、これまで取り組んできたマリンビジョン活動を全国に広めるための情報発信の場として、全国各地で「講演会」を実施したことが高く評価され、最優良賞の受賞となりました。

講演会では、「水産物のブランド化（一部会一品運動）」、地元催事の開催、観光客等の受入、クルーズ船運航等の「渚泊推進活動」、歯舞地区の太宗漁業である昆布漁業を初めとした「漁業の歴史」、また、現在建設中である「衛生管理型市場」の4つのテーマを軸に講演し、歯舞地区の知名度・認知度向上と、マリンビジョン活動の普及・拡大に努めました。



北海道マリンビジョン21コンテスト 受賞歴

今回で12回目となる北海道マリンビジョン21コンテストにおいて、当協議会は最高位6回、その他2回の計8回の賞を受賞し、多くの地域からマリンビジョンモデル地域の模範として注目されています。

今後も慢心することなく、モデル地域の名に恥じないよう、更なる地域活性化に向けた取り組みを推進して参りますので、地域住民・関係者皆様のご協力をお願いいたします。

年度	部門	受賞名
2008年 (平成20年)	総合部門 個別部門	北海道開発局長賞（最高位） 北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞
2009年 (平成21年)	総合部門	北海道開発局長賞（最高位）
2011年 (平成23年)	個別部門	北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞
2012年 (平成24年)	総合部門	北海道開発局長賞（最高位）
2015年 (平成27年)	総合部門	北海道開発局長賞（最高位）
2017年 (平成29年)	—	優良賞
2018年 (平成30年)	—	最優良賞（最高位）
2019年 (令和元年)	—	最優良賞（最高位）

※2017年度コンテストより「個別部門」の廃止

地引網の体験学習を実施

～ 歯舞学園3・4年生が挑戦 ～

7月8日(水)、歯舞学園3・4年生を対象に友知海岸で地引網体験学習を実施しました。

地元漁業者に協力していただき、前浜昆布が解禁されるまでの合間を縫って行っている取り組みで、地元の漁業や自然に触れて関心を持ってもらうことなどを目的に継続実施しています。

初めに漁業者さんから挨拶と地引網実施にあたっての注意事項の説明がされ、その後漁業者さんの合図でいよいよ地引網開始。児童らは「オーエス！オーエス！」という掛け声とともに力いっぱい網を引っ張りました。引き揚げた網の中にはピチピチと飛び跳ねる魚がたくさん入っており、児童からは歓声が上がりました。

これから子供たちが地元の産業や自然に触れ合う機会をつくり、地元への関心を深める活動を続けていきたいと思えます。



歯舞の潮干狩り 歯舞学園水産学習開催

～ 見て、獲って、食べて。自然の恵みを体感 ～

7月6日(月)と21日(火)、トーサムポ口漁港内あさり潮干狩り場において、歯舞学園1・2年生27名と7年生19名が、水産学習としてあさり潮干狩りを体験しました。

生徒たちは道具を受け取ると次々とあさを掘り、あさりの沢山いる所とそうではない所、色・大きさの違い、底質の違いを考察したり、その他生物を発見するなど、生徒たちの着眼点の鋭さに職員一同も感心させられました。

今回の水産学習で得た「自分の目で見て、手で獲り、食す」という経験が、今後、自身の財産となってくれることを期待します。



『日本一遅く咲く桜並木』の整備

～ 14年目を迎えた植樹活動 ～



5月19日(火)、今年で14年目を迎える「日本一遅く咲く桜並木」の整備を行いました。

今回は歯舞漁港背面地に成木3本を植樹し、これまで植樹した158本の桜と合わせ、合計161本となりました。

今回植樹した桜は「根室市市民の森」からの寄贈によるもので、植生地が変わっても何とか開花してもらいたいと願っています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度のマリンビジョン活動の継続が危ぶまれていましたが、当協議会の主旨に賛同して下さる大勢の方々のご協力の下、今年も桜並木の整備が継続できたことに心より感謝いたします。

いつか「桜並木のある漁港」として地域のシンボルとなるよう、今後も整備を継続して参りたいと思いますので、ご協力・ご声援、宜しくお願いいたします。



歯舞学園 水産学習及び地元 PR 活動

～ 昆布を通じて歯舞の魅力を再確認 ～

歯舞学園第8学年の生徒16名は水産学習の一環として、7月17日(金)に歯舞組合で体験学習を行いました。生徒たちは昆布の採取から製品化までの一連の工程や、特産品の「はぼまい昆布しょうゆ」の歴史などを学びました。その後昆布加工場や昆布製品倉庫などを見学しました。

また、地元 PR 活動として、根室市や他方面にも昆布しょうゆを PR するチラシを作成し(右のQRコードから生徒が作成した動画を視聴できます)、生徒たち自らが釧路駅や厚岸味覚ターミナルコンキリエの利用客向けにチラシ設置を依頼しました。

今回のPR活動を通じて、生徒たちは歯舞の魅力を再確認し、地元への関心と愛着を更に深めてくれたことと思います。



根室市立歯舞学園 8年生 地元PR活動

はぼまい昆布しょうゆ 賢沢仕上げ

根室のイベント
根室さんま祭り
場所: 根室港 時期: 9月下旬頃

こちらは「日本一」と市民が自負するほど脂の乗りが良い、根室自産の海の幸です。「炭火焼さんま」の無料提供や「大漁さんま」のつかみ取り大会などイベントが盛りだくさん!

歯舞こんぶ祭り
場所: 歯舞漁協産地付産場(市場) 時期: 8月下旬頃

「昆布うどん」、「昆布そば」、「昆布入りおでん」など昆布料理が大好評! 歯舞漁協の「昆布しょうゆ」や「昆布製品」、歯舞産の「北海しまえび」などの海産物も販売されます。

歯舞学園の8年生で、動画CMも作成しました! ぜひご覧ください!

特徴

- ・従来の昆布しょうゆより
- ・天然一等昆布使用量**20%アップ**
- ・一般のこいくちしょうゆと比べて
- ・塩分**25%カット**
- ・開封後**90日間**新鮮さをキープ

おいしいのでぜひお試しください!

ご購入・問い合わせ
歯舞漁業協同組合(直販所)
電話番号:0153-28-2301
URL:<https://www.jf-habomai.jp/>
作成: 根室市立歯舞学園 8年生一同
電話番号:0153-28-2010

歯舞学園の8年生で、動画CMも作成しました! ぜひご覧ください!

(歯舞学園子供ブログ)

← 生徒手製のチラシ

動画 QR コード

スマートフォンなどで読み取って視聴してください



浜の活力再生プラン取組事例発表

～ 浜に元気を!! ブランド化への挑戦 ～

浜プランとは、漁業者自らの手で浜に活力を取り戻し所得の向上を図る目的に、国などからの支援を得て活性化対策を検討・実行する事業として2014年よりスタートし、619地区が実施しています。

これまでは、漁業者関係者らが一堂に会して発表を行っておりましたが、今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止と、一般の消費者らにも漁業者の頑張りを知ってもらおうと「You Tube」での動画公開となりました。動画では、北方領土を望む漁場をもちながら、地域の基幹産業である漁業の活性化に向けた取り組みとして、ミスダコを活きたまま出荷する「金たこ」を例に挙げ、ブランド化(一部会一品運動)の推進について紹介しました。

動画は「浜プラン. jp」のホームページからアクセスし、視聴することができます。



編集・発行・お問い合わせ

■ 編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■ お問い合わせ 事務局 担当: 根室市水産経済部水産振興課水産振興担当
電話: 0153-23-6111 FAX: 0153-24-8692

